

- ◆主題名：人間の気高さ
- ◆内容項目：D-(22) よりよく生きる喜び
- ◆ねらい：内なる弱さと向き合い、それを克服することで、生きることに喜びを見いだそうとする実践意欲を育てる。
- ◆内容：医師である「僕」は恋人と別れ、ケニアへ赴いた。過酷な大自然の中の小さな診療所で、多くの人の命を救う道を選んだ。そこに、ある日、東京で別れた恋人からの手紙が届く。そこには、恋人がほかの誰かのもとに嫁ぐことがつづられていた。彼はケニアを選んだ自分の生き方を悔いてはいないが、恋人にすまないと思いながら、返信にはケニアの美しく壮大な風景などをつづり、そして末尾に、絞るような優しさで、「おめでとう さようなら」としたためた。大切な何かを選べば、もう一つの大切な何かを手放さなければならないこともある。内なる自分に恥じない、誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方を見いだすことができる教材である。

「現在を生きることに思い上がりたくない。」とは何を意味しているだろう。

- ・自分が生きていることを当たり前のことだと思いたくない。
- ・日本に残した恋人に会いたくないわけではないが、今はケニアで人々を救うことに手を抜きたくない。
- ・恋人や日本を忘れて自分で優越感に浸りたいわけではない。
アフリカでの現在の生活に満足せずに、もっと人を助けたい。
- ・周りで人が死んでいく中でとき自分が生きていることにうぬぼれたくない。
- ・自分の幸せだけを求めるのは嫌だ。
- ・助けを求めている人がいるのに、見ないふりをして生きるのは嫌だ。
- ・目の前で失われていく命を見過ごして、後悔したくない。
⇒胸を張って生きられるようになりたい！



「風に向かって立つライオンでありたい」とは、どんな生き方を言うのか？

- ・自分の生き方に後悔しないで、胸を張ることができる生き方。
- ・いろんな人を救って、助けることで自分をもって堂々とできる生き方。
- ・自分だけが幸せになるだけでなく、みんなも幸せにできる人間になりたい。
- ・自分以外の誰かを助け、役に立ち、幸せにできるように頑張ることで、
これから的人生を気高く胸をはって生きていけるようになりたい！
- ・向かい風のように辛いことがあっても立ち向かえるような人間になりたい。
⇒どんな困難があっても強く、人の命を助けたい。=困難に堂々と立ち向かっていく生き方。

